



発行所
一般社団法人秋田中央建設業協会
発行人
田中道
〒010-0951秋田市山王4丁目3番7号
TEL 018-862-7778
akenkyo@akenkyo.or.jp
秋田中央建設業協会 検索

2019年度 建設業労働災害防止実施計画

今年度に会員及び協会が取り組むべき安全衛生管理活動ならびに労働災害を未然に防止するために、建設現場において講じるべき具体的な措置について取りまとめた「2019年度建設業労働災害防止対策実施事項」が建災防によって策定されました。

会員各位におかれては、本実施事項に基づき、経営トップの指揮の下、各社の実態に即した安全衛生計画を策定し、目標達成に向け、実効ある労働災害防止活動を展開し、働く人々の安全と健康を確保すると共に、快適な職場環境を形成されるようお願いします。

計画の基本方針

次の事項を重点に労働災害防止活動を推進する。

1. 「第8次建設業労働災害防止5カ年計画」の周知徹底
2. 「建設業労働災害防止規程」の遵守
3. リスクアセスメント及びその結果に基づく措置の確実な実施の推進
4. 「ポジティブアプローチによる建設業労働安全衛生マネジメントシステム」(ニューコスモス)の導入の促進
5. 重篤度の高い労働災害を減少させるための重点対策の推進
6. 安全衛生教育の推進
7. 建設従事者の過重労働による健康障害防止対策、メンタルヘルス対策の充実
8. 中小専門工事業者の安全衛生支援活動の推進
9. すい道等建設労働者健康情報管理システムの運用による健康確保対策の推進
10. 東日本大震災等の自然災害に係る復旧・復興工事における労働災害防止対策の推進
11. 東京オリンピック・パラリンピック関連工事における労働災害防止対策の推進

12. 全国大会等、集合形式の安全衛生活動の推進
13. 労働安全衛生関連情報の共有化の促進

重点実施事項（会員が実施する事項）

1. 「第8次建設業労働災害防止5カ年計画」及び「建設業労働災害防止規程」の遵守
2. 安全衛生管理体制の確立
3. リスクアセスメントの確実な実施
4. 建設業労働安全衛生マネジメントシステム（コスモス）の導入と実施
5. 重篤度の高い労働災害を減少させるための重点策の実施
6. 工事別労働災害防止対策の実施
7. 安全衛生教育の徹底
8. 建設従事者の過重労働による健康障害防止対策、メンタルヘルス対策の徹底
9. 東日本大震災等の自然災害に係る復旧・復興工事における労働災害防止対策の徹底
10. 職業性疾病の予防対策の徹底
11. 快適な職場環境の形成
12. 安全衛生大会等、集合形式による安全衛生活動実施



H30.11.7 合同安全パトロール

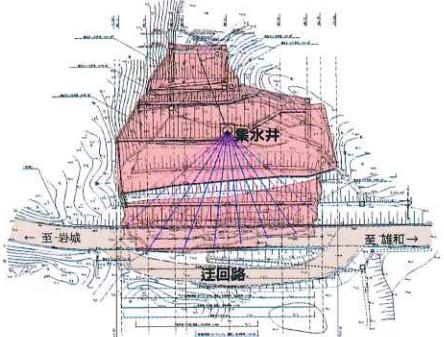
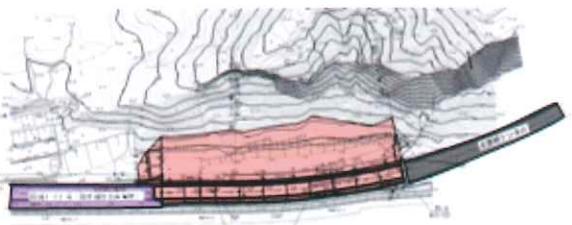
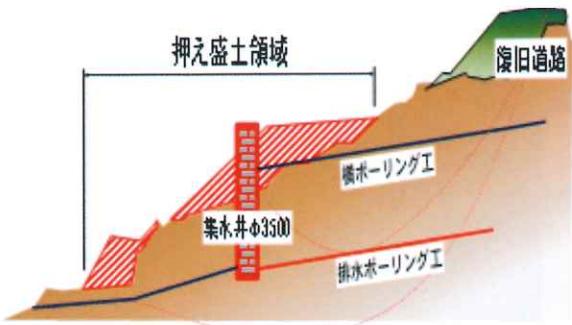
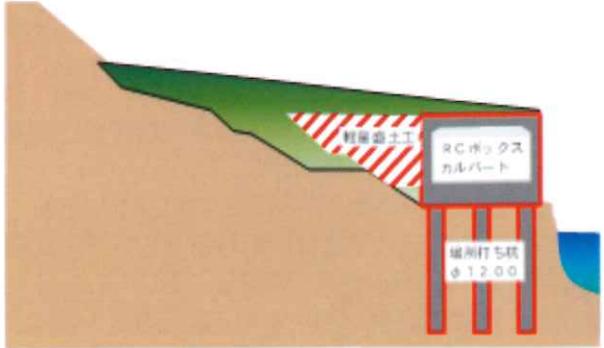
道路災害復旧工事の状況について

秋田地域振興局 建設部

9月号では、5月の豪雨災害により県が管理する土木施設について被災した箇所及び状況について主に河川災害について報告させていただきました。今回は道路災害について報告します。

5月の豪雨災害により、国道101号生鼻崎トンネル坑口付近（男鹿市側）で大規模な土砂崩落が発生したこと、現在も生鼻崎トンネルの通行止めが継続中となっています。この災害への恒久的な対策工事として、既存のトンネルからコンクリートの洞門工（カルバート）函渠を延伸します。工事は平成31年3月から平成32年の約2年間を予定しています。

併せて、平成29年度災害による雄和岩城線の地すべり災害も査定が完了したことから、平成31年3月から押さえ盛土及び集水井による恒久対策工事に着手し、県民の安全・安心を確保すべく早期完成を目指して事業を推進してまいります。

| | | | | |
|------|---|---|--------------------------------------|---|
| 路線名 | 主要地方道 雄和岩城線 (秋田市雄和相川字後野) |  | 国道101号 生鼻崎トンネル坑口付近 (男鹿市脇本) |  |
| 原因 | 平成29年7月23日～ 平成30年10月4日の 豪雨による地すべり災害 | 被災直後の状況 | 平成30年5月17日～ 平成30年5月19日に よる豪雨災害 | 被災直後の状況 |
| 工事概要 | <p>＜恒久対策工事＞</p> <p>復旧延長 L=82.5m 復旧幅員 W=9.6m 盛土工 V=10,270m³ 集水井 Φ3,500mm N=1基 集排水ボーリング Φ90mm L=695m</p> | | | <p>＜恒久対策工事＞</p> <p>復旧延長 L=195.6m 復旧幅員 W=10.6m 道路土工 路体盛土 V=22,110m³ 洞門工 カルバート工 L=180m 舗装工 Co 舗装 t=25cm A=1,350m² 照明設備工 照明器具設置 N=8台</p> |
| 平面図 |  | | |  |
| 横断図 |  | | |  |
| 事業費 | 約1.3億円 | | 約20億円 | |



夢を追う男・紳士の大冒険家 阿部雅龍さん ②

(一社)秋田中央建設業協会 顧問

菅原 三朗

次の冒険は、人力車の仕事をしていた時に、ロッククライミングのジムで山の情報に関するフリーペーパーに、日本人がまだ踏破したことのないトレイル（山道）があるということを知り、挑戦しようと決めた。アメリカのカナダ国境からメキシコ国境までのロッキー山脈を縦走する4,200キロの山道である。

カナディアンロッキーの町バンフで8ヶ月ビデオ会社で働きながら準備を整え、翌2010年6月カナダ国境から出発、全長4,200キロ、標高2,000米前後の自然との闘いであった。11月10日メキシコ国境に到着、踏破した。

次は南米アマゾン川の単独筏下りである。2012年9月10日、ボルバから出発した。途中様々な危険な目に遭った。マラリアも発症するなど大変な冒険であったが、ペルーとブラジル・コロンビア三国の国境に到達、アマゾン川の筏下りはゴールした。42日間、約2,000キロの旅であった。

2013年に入って、次の夢への第一歩を踏み出した。大場さんの冒険学校近くの前森高原の強風が吹きつける一面雪の中でのトレーニングは、極地を仮想できるものだった。

このトレーニングは冒険を始めて8年経って、ようやく立つことが出来たスタート地点であり、早い段階から目標としていた「極地冒険」「南極冒険」を具体的に目指していくための第一歩だと位置づけられた。

南極を歩くことは生易しいものでないことはもちろんだし、この後もなお段階的にそのトレーニングになる冒険を積んでいくことを予定していた。

2014年春にはカナダ北極圏500キロを単独で歩き、翌15年春にはカナダ北極圏1,000キロを単独で歩いた。その年の冬には南極大陸を視察して実地トレーニングも行なった。そして16年春グリーンランド内陸氷床1,500キロを単独で歩き、2018年冬にいよいよ南極点を目指して単独歩行を行う予定を立てていた。

白瀬中尉の夢を継ぎたい
という思いは、やはり強い。
子供の頃に冒険家の話などを読むようになつて、日本人として初めて



て南極に行った白瀬中尉という人が、自分と同じ秋田県人だと知った。そのことが強く心に残った。

白瀬中尉の南極探検隊は1910年11月に日本を発ち1912年1月に南極大陸に上陸している。今から107年前になる。南緯80度5分西経156度37分の地点が白瀬の到達した最終地点である。そこを「大和雪原」と命名し、日章旗を立て、探検隊名簿を埋めたあと帰途についている。その先へ進めなかつたことが苦渋の選択だった。自分は、そこから更に南極点まで進んで行って、当時の南極探検隊旗と秋田県旗と日本国旗を翻そうと考えているのである。

昨年11月には、いよいよ南極冒険に向け出発した。10月25日には秋田でも壮行会が実施された。11月9日、日本を出発今回は「白瀬ルート」ではなく大陸西海岸の「メスナルルート」からの挑戦であったが、出発直後の悪天候で食糧や装備を積んだ「そり」が進まず、一日の歩行距離が想定より短い15キロ前後にとどまり、ゴールは予定より15日遅れ55日目となった。一人で行動し途中で物資の補給を受けない「単独無補給南極点到達」は果たせなかつたが苦労の末ゴールした。1月17日神奈川の所属事務所への衛星電話では、いろいろな困難があつたが、応援してくれた皆さんのお陰で、今こうして極点に立っています、

と感極まった様子だったという。帰国後の会見で南極は子供の頃から憧れていた場所、今は達成感とともに、もっと大きなことが出来るんじやないかとわくわくした、と語り次の挑戦への意欲を見せた。白瀬中尉の最終到達点の「大和雪原」を経由するルートでの南極点到達を目標に掲げ、このルートでの踏破に向けて、今年11月にスタート出来ればベストと意気込んでいる。現時点での想定で70日～80日を見込んでいる。

阿部さんは白瀬中尉が百年前に示してくれたのは、南極を歩いたという事実だけではない、と語る。

「目の前に立ちはだかる困難にめげず『挑戦心』を抱き続け、それを実行することの尊さでもあったはずだ。

『我れ無くも、必ず搜せ、南極の地中の宝、世にいだすまで』これは白瀬中尉の辞世の句である。さまざまな解釈はあるが『地中の宝』とはあくなき挑戦心と次世代のために戦うやさしさの事だと僕は思っている。そしてその地中の宝を世に示して実証するために冒険している。

白瀬中尉の夢を継ぐ冒険をしようとしているけれど、さまざまな夢がさまざまなたちで受け継がれていけばいい。そして次世代を担う子供達に夢をつむいでいくことが僕の冒険においては最も大切なテーマになっている。

(おわり)



人事異動

(4月1日付け)

◇秋田地域振興局
局長 保坂 学

◇秋田地域振興局建設部
次長 村上 龍巳

○企画・建設課
課長 近藤 雅
副主幹 児玉 光広
副主幹 堀内 満也
副主幹 松塚 忠政
副主幹 目黒 寛
主査 中山 礼子
主査 西井 親文
主査 早川 寛

○保全・環境課
主幹 庄司 直樹
岩見ダム管理事務所長 小嶋 照善
副主幹 佐々木 長史
副主幹 三浦 学
主査 天野 麻美
主査 吉田 雄
○下水道課
主幹 児玉 貢
副主幹 佐藤 健太郎
副主幹 武田 浩一
○用地課
副主幹 天野 徹
副主幹 小国 勝

副主幹 木村 秀隆
副主幹 佐藤 正徳
副主幹 浪岡 幸宏
副主幹 渡辺 浩史
○建築課
副主幹 三浦 花薈
主査 七尾 伸太郎

◇秋田港湾事務所
所長 古山 司
副主幹 岩谷 信介
副主幹 安田 豊寿

◇秋田空港管理事務所
所長 門間 兵悦
副主幹 阿部 智彦
副主幹 佐々木 淳
副主幹 高橋 司
主査 三浦 達也

◇秋田地域振興局農林部
部長 渡部 謙

○農業振興普及課
課長 松橋 正仁
主幹 小林 恭二
主幹 高沢 浩幸
主幹 中尾 学
副主幹 伊藤 晶
副主幹 太田 智
副主幹 佐々木 博之
副主幹 佐藤 寛子

○森づくり推進課
主幹 後藤 哲也
副主幹 藤原 一樹

主査 佐藤 関
主査 大石 勝
主査 大石 博
主査 金森 徳
主査 白山 敦
主査 青木 隆行
主査 佐藤 直行
主査 佐藤 優
主査 渡部 紘宣

○八郎潟基幹施設管理事務所
所長 石川 久志

○秋田労働基準監督署
副署長 山本 祥喜
第一方面主任監督官
児玉 勇
第三方面主任監督官

袴田 周
業務課長 三浦 次夫
労災課長 小林 和範
労災課労災認定調査官 加藤 猛好
労災課労災認定調査官 田原 啓則
労災課労災認定調査官 大森 利広

○(一社)秋田中央建設業協会
事務局長 田中 道

理事会・委員会

◎雇用・安全委員会

3月6日(水)午前11時から開催し、次の事項について協議した結果、委員会として了とし、理事会に付議することとしました。

議題

- 平成30年度事業報告
- 平成31年度事業計画(案)
(武田委員長、渡辺・板橋副委員長、加藤(政)・千葉・工藤・佐藤委員)

◎企画委員会

3月7日(木)午前11時から開催し、次の事項について協議した結果、委員会として了とし、理事会に付議することとしました。

議題

- 平成30年度事業報告
- 平成31年度事業計画(案)

(伊藤委員長、沢木副委員長、足利・高橋委員)

◎工事・技術委員会

3月11日(月)午前11時から開催し、次の事項について協議した結果、委員会として了とし、理事会に付議することとしました。

議題

- 平成30年度事業報告
- 平成31年度事業計画(案)
(清水委員長、加賀屋・富山副委員長、加賀谷・加藤(正)・石塚・青池委員)

◎経営・総務委員会

3月22日(金)午前11時から開催し、次の事項について審議した結果、委員会として了とし、理事会に付議することとしました。

議題

- 会員権の継承について

2. 平成31年度事業計画(案)並びに収支予算(案)

(菅原委員長、平野・長谷川副委員長、齊藤・珍田・佐々木(徹)委員)

◎第10回理事会

3月26日(火)午前11時から協会2階小会議室において開催。次の事項について審議し、議案1、3については承認し、2については次回再審議することとしました。

議題

- 各委員会の開催結果
- 経営・総務委員会の審議結果について
- 平成31年度事業計画(案)並びに収支予算(案)
(加藤会長、加藤副会長、武田・沢木・林・齊藤・菅原・清水・富山・渡辺・藤田・佐々木(創)、長谷川理事、加賀谷・加藤(正)監事)